



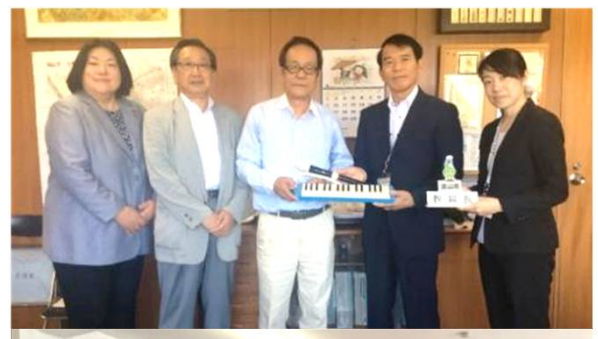
**学校、自治体、企業から  
楽器を頂きました**

千葉県流山市教育委員会  
千葉県浦安市のみなさん  
KDDI株式会社  
埼玉県所沢市のみなさん  
神奈川県立小田原高等学校  
山北町立川村小学校  
太陽生命保険株式会社  
南足柄市内の小中学校



**楽器の命をよみがえらせて  
いただきました**

専門学校ESPIN/ケイメイト東京



**アイメック  
AIMEC ニュースレター 2019 活動しました  
音楽で世界中の子どもたちをつなごう**



AIMECは国内で眠っている楽器を集めて海外の子どもたちに贈る事業を中心に、平和のために活動しています。

**世界の学校、音楽団体に  
楽器を寄贈しました。**

フィリピン共和国  
リトルフラワー・チルドレンホーム学校  
メキシコ合衆国  
クハバリス小学校  
ベネズエラ共和国  
エルシステマ  
モンゴル国  
Nakaikh 119小中学校

**交流しました**

リトルフラワー・チルドレンホーム学校  
山北町立川村小学校



〒25-0117  
神奈川県南足柄市塚原4638-49  
Email: recorder917@yahoo.co.jp  
HP: <http://aimec-jp.org>  
Vol.2 2020年3月1日発行



## I. 楽器の収集

### 【2019年6月】千葉県流山市教育委員会

流山市の笠原久恵市議のご協力のもと、流山市教育委員会のご支援を得て、2018年12月開催の市内25小中学校の校長会に於いてAIMECの活動をご説明し、賛同していただきました。2019年春には各校で楽器の収集が行われ、鍵盤ハーモニカとリコーダー多数を寄贈いただきました。6月7日に改めて市役所を訪問し、教育長・後田博美様、教育部課長・西村淳様、指導主事・藤木真理奈様、市議・笠原久恵様にお会いし、多大なご協力に対する感謝の気持ちをお伝えするとともに、AIMECとしても学校と海外とのパイプ役として努力する旨お話ししました。

### 【2019年6月】千葉県浦安市

AIMECが実施した2018年3月のアフリカ3か国への楽器寄贈事業に際して、浦安市から鍵盤ハーモニカの寄贈を受けていました。2018年6月に浦安市の教育長を訪問し活動報告をし、7月には浦安市の校長会で改めてAIMECの活動についてお話する機会を得ました。それら一連の活動が8月の市民の情報「浦安新聞」に記事掲載され、AIMECの活動に共感された市民の方から複数の楽器がAIMEC役員の元に寄せられました。

### 【2019年7月】KDDI

2019年7月12日、KDDI本社ビルを訪問し、総務部サステナビリティ推進室の責任者と担当者の方にお会いしました。同室のご協力で本社にお勤めの方を通して家庭で眠っていた鍵盤ハーモニカとリコーダーが集められAIMECに寄贈いただきました。

### 【2019年8月】埼玉県所沢市

8月26日、所沢市役所を訪問し、市議・島田一隆様と中富楽器店・中富貴様のご協力により第1回の収集が終わり寄贈いただきました。

### 【2019年10月】神奈川県立小田原高等学校

音楽科・八乙女先生や家庭科・丸野先生のご協力で、生徒や保護者の方々を通し家庭で眠っていた鍵盤ハーモニカとリコーダーが集められAIMECに寄贈していただきました。高校生のような若い人たちがこうした活動に興味を持ち参加してくださるのは大変に有難いことです。

### 【2020年1月】山北町立川村小学校

1月10日、スカイプを使ってフィリピンの小学校と交流している川村小学校から、協力関係にあるAIMECへ楽器が寄贈され、昼休みに児童会の役員5名によってAIMEC理事に手渡されました。かつて「鼓笛隊」が使用していたトランペットやトロンボーンなどの楽器で、修理すれば再利用できそうなものを寄付していただきました。

### 【2020年1月】太陽生命

2018年9月に太陽生命を訪問し、AIMECの活動への協力を要請しておりました。2019年7月に、太陽生命としてAIMECの活動に賛同し、全国約155の支社を含めて楽器収集を行うとのことをお話を頂きました。新春の1月17日に日本橋にある太陽生命本社にて多数の楽器を寄贈いただき総務部長・石山様、課長・安田様と記念撮影をしました。AIMECの活動が全国的な広がりが持ったことはとても意義深いものとなりました。

### 【2020年1月】専門学校ESPIエンタテインメント東京

1月17日に、山北の川村小学校から寄贈の楽器を修理するため、所沢の中富楽器・中富貴之会員の紹介で高田馬場にある「専門学校ESPエンタテインメント東京」を訪問しました。楽器技術科主任の高田晋先生にご相談したところ、学校の修理実習としてご協力いただけることになり、学生たちもやる気満々とのことでした。学生たちの手によって命をよみがえらせ、元気になった楽器は海外の子どもたちのもとへ届けられます。これはAIMECが大事にしている日本人の「もったいない」の心を具体的な形にするとても大切な活動になります。1月24日に楽器を学生たちの手に委ねてきました。

## そのほかにも

2010年に地元PTAのご支援を受けてAIMECの活動が始まって以来毎年、南足柄市内の小中学校からは鍵盤ハーモニカやリコーダーなどの楽器を寄贈していただいています。また、地域にお住まいの方々を始め

全国各地からも車や郵送で楽器を届けていただいています。

数の多寡にかかわらず一つひとつの楽器に込められた大切な思い出や温かい心をしっかりと受け止め、必要とする世界中の子どもたちに届くようにAIMECは最善を尽くしてまいります。

## II. 楽器の寄贈

### 【2019年5月】フィリピン共和国・リムワラ・リドレング・ホーム学校 (LFCH)

2018年にバギオ市在住のマリアさんの仲介で交流がスタートしたベンゲット州ラ・トリニダッドにあるこの学校は音楽教育に力を入れている児童数150人の小さな私立学校です。交流1年目には鍵盤ハーモニカとリコーダーを贈り、2年目の今年はギターとリコーダーを届けました。学校全体は夏休み中でしたが、夏期講習に出ている児童30名ほどが温かい笑顔で迎えてくれ、寄贈式の後半では昨年寄贈の楽器を使った演奏などのパフォーマンスも披露してくれました。交流が2年目に入り友好関係がさらに進み、強い信頼関係ができたように思われます。そして、スカイプによる子ども同士の交流を今年度も続けていくことが確認されました。

### 【2019年9月】メキシコ合衆国・ロスモチス

成田から首都メキシコシティまで直行便の13時間と国内便2時間をかけて、太平洋側のカリフォルニア湾に面した人口約27万人のロスモチスを訪れました。今回の訪問先は児童数530名のクアバレノス小学校です。当校は昨年ロスモチス市が市政の改善案を公募したところ、音楽教育の重要性を訴えた案が採用されました。賞金として受け取った1500ドルで楽器を購入したとのこと。さらに今回AIMECが鍵盤ハーモニカとリコーダーを贈ることで当校の音楽教育を一層充実させられると、指導にあたる先生から感謝されました。当校をモデル校と位置づけ、熱い思いをもって音楽指導する先生を応援していきたいと思えます。

### 【2019年9月】ピースボート (PB) とベネズエラ共和国・エルシステム

長年にわたって「平和の船」として世界一周のクルーズをおこなっているピースボートとの共同事業として、ベネズエラの「エルシステム」に鍵盤ハーモニカやリコーダー、バイオリンなどの楽器を寄贈しました。

「エルシステム」は1975年に始まった音楽教育の組織で、すべての子どもが無償で集団での音楽教育を受けられ、年齢や所属学校などにかかわらず上級者が後輩を指導するといった特徴があります。管弦楽のフルオーケストラを基本としながらギターや民族音楽などの専門グループも活動しています。現在ベネズエラは二人の大統領がいるという異常事態のために政治や経済は混乱していますが、110万人が参加する「エルシステム」は落ち着いた活動を維持しています。今回の訪問では人々の心を勇気づける音楽の強さをヒシと感じました。

### 【2019年11月】モンゴル国・Nakaikh 119小中学校

ウランバートル市にあるNakaikh 119小中学校を、AIMECモンゴル代表のガリッドさん(Mr.Garid)と共に訪問しました。当日は持参した鍵盤ハーモニカとリコーダーの贈呈式と、休日にも拘わらず登校してくれた生徒たちの歌と踊りのアトラクションがあり、心ごもった歓迎を受けました。この学校は音楽教育に熱心だそうですが、あるのは伝統楽器が殆どで、お贈りした鍵盤ハーモニカとリコーダーは貴重なものとして大変に喜ばれました。滞在中お世話になったガリッドさんとお家族を通して、モンゴルの人たちの優しさや心の温かさに触れ、家族が仲良く慎ましく暮らす様子が心がじんわりと温かくなりました。

## III. 子ども同士の交流

### 【2019年11月】川村小学校とリムワラ・リドレング・スクール学校との幼い交流

昨年度の4月の楽器寄贈に引き続き12月と2月に行ったスカイプによる子ども同士の交流を、今年度はさらに進化させて11月7日と18日に行いました。ネット環境の不十分さを補うために、事前に郵送で自己紹介カードを交換しておき、カードを見せ合いながら相手を確認し笑顔で挨拶を交わしました。川村小学校の5年生60人は数グループに分かれ、英語での日本文化紹介や楽器と歌の演奏を披露しました。LFCHからは鍵盤ハーモニカやリコーダーで「さくら」等の演奏がありました。これらの交流を通して、子どもたちの相互理解が進み友好関係が深まって、日本とフィリピンが「親しい友人の住む特別な国」になったことでしょうか。「世界平和」の実現につながる小さな一歩になることを願っています。